

春の大セミナー2018
5th C+テーブル 総評

ジャッジ 黒沢のぞみ(高崎経済4)

メンバー 河下(慶應2) 下羽(成蹊2) 芝(早稲田2) 庄子(明治学院2) 田沼(フェリス3)
九鬼(上智2) 西原(東洋2) 吉田(慶應2) 小沼(明治学院2)

1. はじめに✿

春セミお疲れ様でした！

総評に関してですが、私自身もまだまだディス勉強しなきゃなって思っている身なので、コメント・順位は参考程度にとどめておいてください。みんなの今後に少しでも役立てたらと思います。

参加していたみんなと外から見ていた私とで解釈が異なっていた部分もあるかもしれません。その点をご容赦いただけると幸いです。

2. 議論の流れ✿

【Narrowing(約 2 時間 30 分)】

【ASQ(約 30 分)】

田沼(フェリス3)のナロー「JG's task = to make situation better」という発言に対し、河下(慶應2)が「JG のタスクの VP は何か？」という Q が入り、田沼が「RJG」を選択したところから、『今回のディスカッションにおける“make situation better”とは何か・どんな話し方(オピメの方向性)ならそれを達成しうなのか』という主に 2 つの論点の検証がスタートしました。

各テーブルメンバーから、河下の発言の定義・意図を引き出すための Q や C、それに次ぐ「オピメ決め後、河下のオブジェクションとして話せるのではないか」「河下自身がオピメとして立候補すればいいのではないか」という S が非常に多く飛び交ったが、なかなか説得が出来ない且つ個々の発言が浸透しきらず話が収束しないまま時間が経過しました。

しかし、検証の中で「オピメが設定する TG の SM が彼ら自身で解決できるものならば日本政府が関与する必要はない。だから、日本政府しか救うことのできない TG を持つオピニオンプレゼンターを基に議論しよう。」という河下の提案を導き出すことが出来ました。

沢山のアプローチがあったものの、最終的に芝(早稲田2)の「河下の提案に賛成かどうか vote で決めよう！」という S にテーブルメンバーが乗り、多数決の結果全員が手を挙げなかったため、河下の提案は通らずこの話は終了しました。残り 30 分強でナローが再開され、田沼がオピニオンプレゼンターに決定し、体罰のユージュアルなオピシでディスカッションが始まりました。

SOH で、芝の「体罰があるおかげで、生徒の良識を高めることが出来るから、Harm は深刻ではない」というアーギュメントが出され、その検証途中でディスカッションが終了しました。

3. 順位と個人総評✿

※注意 今回、テーブルに浸透しないまま終わってしまい宙に浮いてしまう発言・相手の意図を組み切れていないカンファメ等が非常に多く、発言としてカウントできなかったものもあったことから順位自体は本当に僅差でした。各発言の完成度、Q 一個などで順位が動く可能性が十分にあったことを前提として確認をお願いします。

1位 河下(慶應2)

理解力とプレゼンに長けており、テーブルに散らばっていた話を簡潔にまとめ収束する役割も果たしていたため、1位になりました。

しかし、英語が流暢で理解が速いぶん、的確な発言をしてもテーブルメンバーにキョトンとされてしまい話が戻ってしまう場面も多く、周囲の反応を見ながら自分に乘せていくプレゼンを意識してプレバするといったと思います。

ナローイングに関しては、私個人の見解だと日本政府でしか救えない事案を扱おうって方向性はキープしたまま選んでもらえそうなオピニオンを考案する or 選ばれなかったらアーギュメントとして議論の中で立論するとかの方がもっと内容について話せたんじゃないかなって思いました！

せいや春セミお疲れ様！

同じような議論が展開されがちな春セミで、自分の意見をしっかりと持ちテーブルに伝えようとしてたのすごくよかった！もっと上のテーブルに行くポテンシャルもあると感じたので、どのテーブルでも自信をもって発言していくとアッセンや来年の春セミで光ると思う！がんばってね★

2位 庄子(明学2)

コンスタントな発言と、各発言の浸透度から2位に選定しました。段階を踏んで、相手の主張を Q で引き出す力があるように思いました。ナローイングでは、引き出したアンサーに対し矛盾を指摘し次に進めようと努めていましたが、なかなか説得できず決定的な S には至りませんでした。

介入の切り口と、論理的な話し方は身についているので相手に載ってもらうために S による相手へのメリット、反論を持っているならオピニオンの後こういうロジックで話そうよ！って具体的に示してあげるとよかったかもしれません。

ゆうやお疲れ様でした！

最後まで諦めないで頑張ってたね！今回は自分のアイデアの提示はなかったけど、トリートの方も春セミ期で身についてきたのかなって思っていて見ました。この調子でプレバを続けていけば色々な役割で活躍できるようになるはずなので頑張ってください。応援してます★

3位 下羽(成蹊2)

ナローイングから積極的に Q と C に努め、テーブルを進めようとしていたを評価しました。しかし、せっかくカンファメしたのに「Np」とはじかれてしまう場面、すでに浸透していた情報も見られたため僅差で順位が下がってしまいました。

途中で、河下のアイデアをロジックを書いてカンファメしようとしていましたが、チャートを相手に預

けてしまったため理由を聞くだけのQになってしまったのが非常に惜しかったです。そこで、コンテンツを引き出しながらロジックの穴埋めを行っていったら有効なカンファメになっていたと思います。

きょうへいお疲れ様でした！

上にも書いたとおり、せっかくいいカンファメしてるのにロジックを渡しちゃうのがもったいなくて「書いてー！」って叫びたいくらいでした(笑)テーブルのために必要な発言が出来る力はあると思ったので、もっと自分で先導できるようにしていくとより活躍できると思います。がんばってね★

4 位 芝(早稲田2)

発言量自体は、そこまで多くなかったものの、2時間以上を費やしたナローイングが彼女の提案により収束したことが順位を引き上げました。

「Vote にしよう」という提案自体は、河下の意図が「日本政府でしか救えない事案を扱おう」という提案だったことから正当だったと思います。ただ、Vote にするべき理由やそれまでの過程で介入が少なかったため、突然の発言になってしまい、場合によっては乗ってもらえなかったかもしれません。

きっと議論の流れはよく理解できていたと思うので、目指すSに向けて段階的に介入するように意識するとこの介入の質が一気に上がったはず。

Sを打つまでの過程を意識してケースやプレパを重ねてみてください！

さやかちゃん春セミお疲れ様でした！

5thで疲れていたはずなのに、笑顔で元気よく参加してくれたのが印象的で見てるこっちも嬉しくなりました。アトモスに加えてプレゼンもわかりやすくよかったので、プレパを続けて発言量が増えたとさやかちゃんの良さが光ると思う！アッセンも応援してます★

5 位 西原(東洋2)

相手のアイデアの前提を理解するQC→自分の提案という基本的な流れができているように感じました。ナローイングでは、「オピメの価値観によって日本政府にしか解決できないかどうかは変化する。だからオピメ決めに進もう。」、判例を出してburdenを振るなどの方法でSを打とうとしていましたがなかなか乗ってもらえず惜しい場面が多かったです。相手に乗せるために、自分の主張を提示するのに加え、相手とテーブルメンバーに向けたメリットも確実に伝えられるとよかったと思います。

発言自体は鋭いものが多かったので、次はどうすれば自分の方向にみんなを乗せられるのか考えてプレパしていくと一気に伸びると思いました。

ななみちゃんお疲れ様でした！

4thから見て、基本的な力はしっかりついていて発言量もあったのでこれからがすごく楽しみだなと思ってました。ディスー一生懸命やってきたのがひとつひとつの発言から伝わってきたのが嬉しかったので、これからの東洋を引っ張ってくれることを期待してます！がんばってね★

6 位 吉田(慶應2)

ナローイングの時、多くのメンバーがアイデアを後で話すようにアプローチしていた中、唯一プロシを引いてテーブルの混乱を解消しようとしていました。

しかし、プロシ自体が抽象的であったため「みんながプロシを認めたけど実際には使われていない」場面も見受けられました。

今回のテーブルでプロシを用意することに気づけた点は非常に良かったです。ナローへの S に「ride on or not」を決定するというゴールに向かって、テーブルに出ている論点を組み込んだプロシを作れたらもっと中心で活躍できたと思います！

ひかるちゃんお疲れ様でした！

プロシを作ろうとしたり、全体的にテーブルに落ちた話をサポートしようとしていたのが印象的でした。その姿勢はきっとどのテーブルでも役に立つし必要な役割なので、プレパを重ねて磨いていってくれたら嬉しいです！期待してます★

7位 九鬼(上智2)

発言量自体は Q を中心として多かったものの、どんなアンサーが欲しいのか相手に浸透しきれていない発言もしくはせつかく聞いたのにアンサーが来なかった発言が原因で順位が上がりませんでした。

話してる途中で混乱してしまったり、万一他の人が入ってきても自分で軌道修正できるようになると一つ一つの発言の質が上がり、もっと楽しくなると思います。

しかし、発言自体はテーブルに足りていないものを補おうとしたものもあり評価できる点もしばしばありました。今後は、自分の発言の必要性を明確にテーブルに伝えること・自分の解釈と想定しうる解釈を提示し発言に具体性を持たせることに気を付けて介入してみてください！

くっきーお疲れ様！

試ジャッジで見たときよりもたくさん発言してくれてたね！視点はよかったのに、優しさからか引き下がっちゃう場面もあって惜しい！って思っていました。言ってることは間違っていないので、今回やってくれた Q やダウトの提示から、C や S に繋げていけるともっと伸びると思う！がんばってね。

8位 田沼(フェリス3)

オピニオンプレゼンターを務めてくれましたが、時間がなく ASQ を証明できなかった点、発言量の少なさからこの順位となりました。ナローイングの時も、ナロープレゼンターということを活かし、河下と自分の相違点を抽出して少し強引に進めてしまっても問題なかったかなと思います。途中で、オピシが出てきたときに Q をして clash point を抽出している場面もあったので、S まで繋がれたらまた違う結果になっていたかもしれません。

ただ、混とんとしたテーブルの中で終始冷静に発言できていたことを考えると、もっと田沼さんの発言を必要としていたメンバーも多かったんじゃないかなと思いました。

話の流れは理解していたと思うので、散らかった発言を適宜チャートにまとめるなどして議論を動かす役割がもっとできるとよかったです！

いぶちゃん最後の春セミお疲れ様！

4thも見てたけど、最後まで諦めずに落ち着いて発言ができてたのがすごくよかった！オピメも上手だし実力はしっかりついているので、自信をもって量を増やしていけるといぶちゃんの良さが引き立つはず。アッセンで悔いなく終われるよう、頑張ってください★

9位 小沼(明学2)

Q で何度か介入がありましたが、発言量が少なくこの順位になりました。

しかし、5thでも最後まで決して諦めることなく疑問に感じたことをテーブルに伝え解消しようとする点はすばらしく、高評価でした。

Q 自体は、わかりやすいチャートを用いて伝えることが出来ていたのですが、理解が追い付かなかった箇所を聞く際に「わからなかったから誰か解説してください。」って頼んでいたのがすごくもったいなかったです。今回みたいにイレギュラーで多くの発言が混乱していたテーブルでは、エリアやタスク、common/clush などのごちゃり解消のキーになる部分を Q 形式で穴埋めしていくようにすると自分の分からない点が明確になる＆テーブルのためのカンファメにもなると思うので、よかったら実践してみてください。

うおんちゃん春セミお疲れ様！

4thで初めましてだったけど、2回見てる中で一生懸命議論についていく姿が嬉しかったし、これから伸びるだろうな～って思っていました。これからも色々なテーブル組んで、ディス楽しんでいってね！また見れるの楽しみにしてます★

4. さいごに✿

このテーブルのみなさんへ

改めて5回のディスカッションよく頑張りました！

このテーブルのよかった点は、開始前に「楽しもう！」って始まって、全員が本当に最後まで諦めずに元気よく参加してくれたことです。それは、みんながこの春休みディスカッションを頑張ってきた何よりの証拠だと思います。5thって疲れててほぼ結果わかってるし「もういいや」って投げ出しちゃう人も多いイメージ(私の偏見です)なんだけど、終わった後に全員が「楽しかった！」って帰っていくのがすごく嬉しかったです。

私にとって本当に最後の春セミで、みんなのことは見る事が出来て本当に幸せでした！ありがとう。これからも応援してます！



総評に関しての質問、その他何かお役に立てることがありましたらお気軽にどうぞ☺



Spring seminar 2018